

地球環境基金助成事業
町民環境フォーラム2012

エコタウン内灘の地産地消を目指して ～自然とともに 安心・安全・エコな暮らし～



平成24年11月25日（日）13:00～16:00

会場 内灘町役場 町民ホール

皆様のご来場をお待ちしております。 入場無料

お問い合わせ

内灘町教育委員会 生涯学習課 〒920-0292 河北郡内灘町字大学1丁目2番地1 TEL076-286-6716 FAX076-286-6714

フォーラム開催にあたって

13回目となる今年の町民環境フォーラムは持続可能な生活環境の構築を求め続けてきた『エコタウン内灘』の町民として、テーマに、去年の環境フォーラムの基調講演で池田香代子さんが話された未来に希望を持てる究極のライフスタイルは「地産地消」であるという言葉と「安心安全な暮らし」を真剣に考えてみます。安心・安全な地域社会や自らのエコな暮らしを子どもも学生も大人も世代を超えてみんなで考えるそんな学びの場にしたいと思います。

エネルギーの地産地消の模索 福島第一原子力発電所の放射能汚染事故を契機として私たち日本人は、自分達や子どもたちの未来について地球的視野を持って考え、また自らのライフスタイルの在り方という身近な問題についても真剣な対応が求められることとなりました。エネルギー問題に関しても、現在の中央一極集中型のエネルギー供給体制の功罪についてや私たちの身近にある自然エネルギー利用方法なども真剣に考えます。

安心・安全な暮らし 「大地の動き・人の知恵」。日本は火山の噴火と地震が世界でも屈指と言われるほど多い国です。そして、狭い国土に多くの人が暮らし沢山の原発が立地しています。どんなに科学が進歩しても自然現象である噴火や地震は止めることはできません。南海トラフによる大きな地震なども心配されています。日本列島の「大地の動き」を知り、その自然現象によって犠牲が出る「災害」を人々の暮らし方の知恵と工夫によって減らすことはできます。災害時に備えて知恵と工夫のあるライフスタイルの「気づき」を探ります。

ESDについて ESD(Education for Sustainable Development)「持続可能な開発のための教育」の理念を受けた学校での環境に関する活動が認められ内灘町の全小中学校がユネスコスクールに認定されています。子供の頃から自分たちの未来を地球的視野に立って身近な環境問題に取り組んでいくことの大切さを、世代を超えて考える機会にしたいと思います。

ESDとは…

「持続可能な社会の担い手を育む教育」
⇒ 持続可能な社会を構築するための人づくり

基本的考え方

ESDは、持続可能な社会づくりの担い手となるよう個々人を育成する教育。

特に、

- ・ 人格の発達や、自律心、判断力、責任感などの人間性を育むこと。
- ・ 個々人が他人との関係性、社会との関係性、自然環境との関係性の中で生きており、「関わり」、「つながり」を尊重できる個人を育むこと。



『自然とともに 安心・安全・エコタウン内灘を目指して』をテーマに開催する環境フォーラム2012は「大学コンソーシアム石川」が毎年開催しているESD石川シンポジウムとの共催で開催いたします。

■事例発表 ①鶴ヶ丘小性会学校のエコ活動 ②女性会のエコライフ

■基調講演 ①沢野伸浩 星稜女子短期大学准教授 ②多田 千佳 東北大学大学院農学研究科准教授

■ディスカッション

主催 町民環境フォーラム実行委員会・大学コンソーシアム石川／共催 内灘町連合女性会・内灘町壮年会協議会・内灘町教育委員会
／後援 内灘町学びの風推進協議会・北國新聞社